

養護施設 先輩が支援

児童養護施設や里親のもとで育った人たち(当事者)の全国ネットワーク「こどもっと」(東京都中央区)が、東日本大震災で被災した養護施設の子どもたちへの支援を始めた。鳥取の当事者グループ「レインポーズ」副代表の太田垣茂さん(28)＝鳥取市＝が提案した。全国で義援金を集め、被災地の施設へ送る予定だ。

震災後に太田垣さんは、連絡がとれていなかった家族が再会するテレビ報道のシーンに心を打たれた。「両親を亡くしていて、家族愛にあらみがれがあったから」

小学1年から高校1年まで鳥取市の児童養護施設で過ごした太田垣さん。「いろんな人に支えられて今の自分がある。自分は被災した子どもたちのために何ができるのか」。役所に問い合わせたが、地震発生当時に支援物資は受け付けられておら

鳥取のグループ 全国に呼びかけ

ず、義援金を集めようと職場の仲間や友人に呼びかけた。

鳥取以外に東京、千葉、栃木、名古屋の当事者グループが加盟する「こどもっと」のメンバーと連絡を取り合い、全国的な支援を始めることが決まった。

亡くなった太田垣さんの父親は鳥取市内のイタリア料理店の店長だった。太田垣さん自身も今年5月、鳥取市吉方温泉3丁目にパンとケーキの店「アルコパレーノ」を開いた。今後、店のロゴ入りTシャツを売り、義援金に充てたいとも考えている。「継続して支援したい」

義援金は7月12日をめぐりに、児童養護施設協議会東北ブロックを通じて被災地の養護施設へ送られる。口座振り込み(三菱東京UFJ銀行四谷支店 普通 0104402 社会的養護の当事者団体こどもっと)で受け付けている。(西村圭史)

東日本
大震災



東北の養護施設への義援金を呼びかける太田垣茂さん